横浜YMCA　みつかる。つながる。よくなっていく。　No.503 2020

YMCA News 3

2020年3月1日発行
（毎月1日・1回発行）
1988年1月27日第3種郵便物認可
定価50円
発行／公益財団法人横浜YMCA
広報センター
〒231-8458
横浜市中区常盤町1-7
Tel 045-662-3721
横浜青年

一人ひとりが平和をつくる人に
第6回 横浜YMCA会員大会

横浜YMCAでは、2月11日に「第6回横浜YMCA会員大会」を湘南とつかYMCAにて開催した。会員大会は、新しい維持会員（Yサポーター）を歓迎し、会員相互の親睦と交流、学びの機会として維持会員やプログラム会員とその家族、ユース、ボランティア、子どもたち、スタッフなど303人が参加した。最初に相賀昇牧師（日本基督教団田園都筑教会）による平和の祈りに続き、会員大会実行委員会鈴木茂委員長が「平和を共に学びましょう」とあいさつした。

今年のテーマは「平和をつくる人は幸いである〜和解の務めに生きる〜」と題して、関田寛雄氏（日本基督教団牧師）が平和のメッセージを語った。関田氏は、戦争が私たちに及ぼしたことや日本の北東アジアの平和に対する責任などにも触れ、「平和を創るためには、過去の痛みや悲しみと向き合い、抑圧されている人と連帯していくことも必要である。みなさん、共に生きる世界を創っていきましょう」と語った。続いて、平和の歌として、日本YMCA基本原則のうた「愛すること、仕えること」、日本YMCA大会（2018年）にて全国のYMCAでうたわれているキャプソングの投票で1位になった「ね」を全員で合唱した。その後、広島ピースキャンプ・国際青少年平和セミナーに参加したアフタースクールの子どもたちとYMCA健康福祉専門学校の学生・留学生が平和について学んだ報告を行った、子どもたちは、被爆体験談や本川小学校平和資料館、大久野島毒ガス資料館訪問の報告と、自分たちが平和を創るために「互いに助け合えること」「戦争を一生しない」などと話した。専門学校生は、平和記念式典に参列した様子や横浜YMCAからの折り鶴を届けた報告などを行った。続いて、会員事業委員会岸宗克明委員が維持会員増強キャンペーンの説明を行い、呼びかけた。

午後には、横浜YMCAの各事業が、平和とつながるアクティビティーとして、発表や講義、体験を行った。「ブラインドサッカー体験」（健康教育事業）、「あそぼう！絵本に木のおもちゃ！」（保育事業）、異文化理解（専門学校事業）、「食とことばでつながる韓国と日本」「ボッチャ体験」（語学事業）、「今、日本の子どもたちが困っていること」（オルタナティブ事業）、「認知症を知ろう！あなたも今日からサポーター」（高齢者事業）、「広島ピースキャンプ報告」（アフタースクール事業）や鎌倉車いすと共に歩む会、ワイズメンズクラブ、タイ・パヤオクラフトの紹介があった。

工藤誠一理事長は「本日の平和の学びを各自がそれぞれの場所で広げてきましょう」とあいさつした。続いて、佐竹博副総主事は、ボランティアでこの大会を準備した会員事業委員会をはじめ、多くの参加者に感謝の言葉を述べた。

▲平和について学び、共に平和を創っていこうと誓った第6回横浜YMCA会員大会

平和のメッセージをいただいた関田寛雄牧師（左手前から5人目）と参加者が交わりの時を共にした

平和につながるアクティビティー ブラインドサッカー体験

東京2020パラリンピックで実施される5人制サッカーは、別名「ブラインドサッカー」と言われています。会員大会では、健康教育事業による「ブラインドサッカー体験」が行われ、子どもや親子が目にアイマスク（目隠し）を着け、音が鳴るボールをガイドによる声や音などの情報によりゴールを目指し、視覚の障がいへの理解を深めました。

スリランカを知ろう！ 留学生が自国紹介

専門学校事業では、YMCA健康福祉専門学校の留学生たちが、自国の「スリランカ」を紹介しました。スリランカの紅茶とお菓子を食べながら、観光地の紹介や食事、象を書いた絵を壁に貼り、参加者が目隠しをして象の目の位置を当てるゲームなどを行い、会場が盛り上がり楽しくスリランカの魅力を学びました。

ホドス

少し前に娘の家を訪ね玄関を開けると、4月から小学校に入る孫が満面の笑顔で走り寄り、全身で私にハグをしました。新しく届いたランドセルが嬉しいのです。他のご家庭でも3月はこんな光景が繰り広げられているのでしょう▼横浜YMCAの幼児園や保育園、専門学校、YMCA活動に参加者している人たちが、4月からは新しい生活に踏み出します。保育園や幼稚園を卒園する子どもたちは、おそらく希望に満ちていると想像し、そうであってほしいと願います▼ある30代の歌人が希望を「眉毛を数えるごとし」と詠んでいます。私も早速試しに眉毛を数えてみましたが、確かに一本ずつ数えることは不可能でした。この若い歌人は、希望を見つけるのは難しく、見つけられないと言っているのでしょうか。それとも眉毛を数えるイライラを失望にたとえているのでしょうか▼ただ言えることは、この歌人のような青年期は、確かにいろいろな不安や迷い、葛藤が多く、幼児期のような無邪気な希望はもてない場合があります。まさに専門学校を卒業する人たちの多くは、彼女と同じ青年期の皆さんです。4月から喜びをもって意味ある働きに踏み出しますが、「眉毛を数えるごとし」に出会うはずです▼しかし、その時も希望はあります。聖書の「希望はわたしたちを欺くことはありません」（ローマの信徒への手紙5章5節）を書いたパウロ自身も希望の源のイエスに励まされました。老齢期の私もです。（準）

YMCA NETWORK NEWS

三浦　三浦で子育て応援　1千人の親子参加

2月9日に、横浜市金沢区内にある金沢八景ＹＭＣＡ、ＹＭＣＡマナ保育園、横浜市金沢区地域子育て支援拠点ことこと（横浜ＹＭＣＡ運営委託）が連携し、子育て・子育ち支援の一環として「ＹＭＣＡ子育て応援マルシェ」を三浦ＹＭＣＡグローバル・エコ・ヴィレッジで開催し、乳幼児親子約1千人がつながりや親子のきずなを深めた。

当日は、関東学院六浦中学校・高等学校鉄道研究部の協力のもと、ミニ電車の乗車体験や鉄道模型の展示コーナー、森の中のプレイパークや野外炊事でのスモアづくり体験、再生エネルギーを学ぼうと、みんな電力株式会社によるエコクイズやパルシステム生活協同組合連合会によるキッチンカー等、乳幼児から大人までが楽しんだ。横浜ＹＭＣＡでは、子育ての悩みやストレスを一人で抱えないよう顔の見える関係づくりの輪を広げていく。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です
5 ジェンダー平等を実現しよう　10 人や国の不平等をなくそう

いじめのない世界を創ろう

ピンクシャツデーに取り組む

「いじめのない世界をめざそう」と横浜ＹＭＣＡでは、2月に世界的ないじめ反対運動「ピンクシャツデー」に全国のＹＭＣＡや地域とともに取り組んだ。

2月1日には、横浜中央ＹＭＣＡにおいてピンクシャツデーキックオフ講演会「みんなちがってみんないい！」が開催された。発達障がいのある人、在日コリアンの高校生、ＬＧＢＴＱ、外国につながる人たちがこれまでに差別に苦しんだことなどについて語った。その後、参加者がグループに分かれ、それぞれの多様性を考える意見交換を行った。

6歳の時に、ペルーから来日した山下さゆりさんは、小学校の時に見た目や言葉ができないことからいじめを受け、自分の中で外国人だという要素を殺す必要があるのかと悩み苦しんだ心境を語った。いじめていた側の家庭環境などを知り、許すことができ、それぞれ原因と背景があるので、それを受け入れることが大切であると話した。

ピンクシャツデー月間キックオフの講演会「みんなちがってみんないい！」

また、横浜中央ＹＭＣＡアフタースクールでは、2月12日、21日、26日にピンクシャツデーの取り組みを行った。12日には、紙芝居を使いピンクシャツデーについて学び、いじめにつながる「チクチクことば」や、言われてうれしい「ふわふわことば」を取り出して、いじめをなくすためにはどうしたらよいか考えた。

紙芝居でピンクシャツデーの理解深める（横浜中央YMCAアフタースクール）

このほか各ＹＭＣＡでは、メッセージボードに、それぞれの思いを貼付しピンクのシャツを作成したほか、紙芝居を用いて理解を深めた。

神奈川県や横浜市、地域の企業や団体などで行った「ピンクシャツデー２０２０in神奈川」は、2月9日、16日、24日、26日にいじめストップワールドアクションとして小学校や横浜髙島屋、新都市プラザなどで、ミニ朗読劇『ハッピーバースデー』やパネル展示などを行い、いじめをなくすための大人のかかわりなどについて理解を求めた。26日のピンクシャツデー当日は、みなとみらいの観覧車などがピンク色に染まり、地域の取り組みがさらに広がった。

2年連続　横浜健康経営認証クラスAAA　ダブル認定　スポーツエールカンパニー

横浜健康経営認証式に出席した田口努横浜YMCA総主事（前列左から3人目）

横浜市が行っている「横浜健康経営認証」において最上位のクラスＡＡＡに、昨年から2年連続で認定された公益財団法人横浜ＹＭＣＡに続き、社会福祉法人横浜ＹＭＣＡ福祉会も認定され、1月20日にランドマークホールにて認証式が行われた。

横浜市では、従業員等の健康保持・増進の取り組みが将来的に企業の収益性などを高める投資であると捉え、従業員などの健康づくりを経営的視点から考え戦略的に実践する「健康経営」の概念を広く普及させようと健康経営に取り組む事業所を「横浜健康経営認証事業所」として認証している。社会福祉法人横浜ＹＭＣＡ福祉会は、一昨年「クラスＡＡＡ」、昨年「クラスＡＡ」の認証後、職員の健康状況を分析し「健康づくりプロジェクト」として運動の機会を増やす取り組みなどが評価された。

また、働く人の健康増進のための積極的な取り組みが評価され、昨年12月23日には「スポーツエールカンパニー」（スポーツ庁）として横浜ＹＭＣＡが2年連続で認定された。

横浜ＹＭＣＡでは、良いプログラム提供のため職員の健康維持・増進に取り組んでいる。

Topics

かながわ未病改善・健康会議　横浜YMCAの取り組みを発表

2月6日に、ホテルニューグランドにおいて、「かながわ未病改善・健康会議～日本健康会議in神奈川～」（主催 神奈川県）が行われ、横浜YMCAの「健康経営®」の取り組みについて、事例報告を行った。この会議は、全国各都道府県で行われ、神奈川県でも医療関係団体、企業、行政等が一堂に会し、未病改善の取り組みを通して健康経営®についての議論を深めようと実施されている。

横浜YMCAからは、「横浜YMCA健康経営のこれまでの取り組み～専門性を活かしたあそびごころから。やれば楽しくなる。～」をテーマに、横浜YMCAスタッフの健康づくりプロジェクトリーダーの吉永貴弘スタッフが発題し、特に、健康に関心の少ない若い世代への取り組みや、行政や企業との協働による取り組みを紹介した。発題後のパネルディスカッションでは、司会者である神奈川県顧問の宮田氏（厚労省参与）から、「多様な取り組みにより楽しく取り組めていますね」とコメントがあった。

▲発表後に行われたパネルディスカッション

ポジティブネットをひろげよう
～今月のよくなる一歩～

地域（ちいき）や世界（せかい）に関心（かんしん）を持（も）とう
（Responsibility　責任感）

♪子育てランド♪　遊びは学び

暖かい日が増えて、春の気配を感じるようになりました。思い返すと1年前、保育者を求めて泣いていた子どもたちも、今ではすっかり保育者から離れ、一人遊びをしたり、友だちと楽しく遊んでいます。乳児のうちは、保育者がそばにいることで安心して遊べたり、じっくりと一人遊びをする姿があります。1年前に比べて、こんな遊び方をするようになったんだ…と、感心させられることもありますが、それは年上の子たちの遊びを模倣しているからです。じっと周りを見ていた時期がありましたが、ただ見ていたのではなく、しっかりと観察をしていたのですね。

子どもは観察から始まり「やってみよう」と模倣し、一人遊びをしながら同じ空間にも同じような遊びをしている友だちに気付き、ニコッと笑い合って「なんだか友だちと一緒にいるのが楽しい」と感じて、友だちのことが好きになっていきます。遊びを通して楽しいと感じたり、意欲的、主体的に過ごしながら心も体も成長してほしいと思います。

（YMCA東とつか保育園
保育士　時田明日香）

横浜 3・11をわすれない 復興への想いを共に

東日本大震災から9年を迎える。横浜YMCAでは今年も「3・11をわすれない」をテーマに各YMCAにおいて支援につながる取り組みを行い、復興への想いを共にする。

3月11日（月）午後6時から8時30分にて、横浜中央YMCAにおいて「3・11をわすれない：つながる東日本大震災から9年目のつどい」を行う。今年は『飯舘村の母ちゃんたち～土とともに』を上映し、古居みずえ監督が9年目を迎えた福島県飯舘村の今について語る。古居監督は、東日本大震災による福島第一原発事故により村全域が計画的避難区域に指定された飯舘村での取材を続け「いいだてむらだより」もfacebookで紹介している。

3月10日（火）午後4時から6時に象の鼻パークにて、東日本大震災かながわ追悼の夕べ（主催 3・10東日本大震災かながわ追悼の夕べ実行委員会）が開催され、キャンドル灯火や追悼の歌が行われる。被災地を知る展示やワークショップも行われ、横浜YMCAも活動紹介を行う。

こもれび

ともだちって

総主事 田口 努

ともだちって　いっしょに
かえりたくなるひと。
ともだちって　そばにいない
ときでも、いまなにしている
かなってみたいだすひと。
ともだちなら　いやがること
をするのはよそう。
ひとりでは、もてないおもい
ものもふたりでならもてる。
なかまはずれにされたら
どんなきもちかな
（詩 谷川俊太郎 一部抜粋）

「ともだち」という絵本から抜粋させていただいた。絵本は章立てされていて、「ともだちって」「ひとりでは」「どんなきもちかな」「けんか」「ともだちはともだち」「あったことはなくても」と長文だが、それぞれの心に入っていく。友だちとは何か、子どもにとってはそうだなという思いと、大人になって忘れてしまっていることを教えてくれる詩だ。

2月に横浜の朝鮮学校を訪ねた。小学生たちが、自分のルーツである朝鮮の文化を生き生きと誇りをもって演じている姿に感動した。その中でこの「ともだち」の詩の全文の群読を聞いた。詩を呼びかけるように、それぞれのパートに分かれて読んでいて、子どもたちの思いが会場にいた参加者の心に響き、大きな拍手に包まれた。

外国につながる子どもたちが、自分のルーツである文化や言葉を学ぶことは、人としてのアイデンティティーを育み人権を守ることにつながる。日本に住み、日本の文化に触れ、理解を深めながらもそれぞれの子どもたちのルーツの文化や言語は、大切にされていくことが多文化共生社会だ。朝鮮学校に差別や偏見でさまざまな嫌がらせが続いている。同じ地域に生きる者として、この子どもたちに大人たちが国を超えて友だちであるという姿を魅せられるようにしなければと心に刻んだ。

幼保連携型認定こども園
YMCAとつか保育園
YMCAマナ保育園
地域とともに子育て支援20年

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です
3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに

YMCAマナ保育園、幼保連携型認定こども園YMCAとつか保育園がそれぞれ開設20周年を迎えた。

1月21日には、YMCAとつか保育園20周年感謝会が行われた。第1部では、清水臣牧師（日本ルーテル教団戸塚ルーテル教会・湘南とつかYMCA運営委員）から「今後も社会のニーズにあった地域の子育て支援を続けてほしい」とメッセージがあった。第2部では、齋藤信園長が20年間の感謝の言葉を述べ、幼保連携型認定こども園への移行の経緯を報告したほか、田口努初代園長・横浜YMCA総主事が式辞を述べた。茶話会では、工藤誠一理事長が感謝の言葉を述べ、100人を超える参加者とともに20年の歩みを祝った。

とつか保育園初代園長の田口努総主事が20年の感謝の言葉を述べた

昨年12月21日にはYMCAマナ保育園20周年の記念礼拝・茶話会が行われた。第1部記念礼拝では、森島牧人牧師（日本バプテスト同盟金沢文庫キリスト教会牧師・金沢八景YMCA運営委員）からメッセージがあったほか、参加した50人が20年後のマナ保育園への想いを書いた。

総主事就退任式が3月21日に
田口総主事は日本YMCA同盟総主事に就任

3月に任期満了にて退任する田口努総主事と、4月1日から総主事に就任する佐竹博氏の就退任式が、3月21日（土）午前11時から横浜YMCA発祥の地である横浜市中区の横浜海岸教会において執り行われる。

式には、横浜YMCAの理事・常議員のほか、会員の代表、賛助会をはじめとした地域の関係者、全国のYMCAの代表者が出席する。

また、田口努氏は、日本YMCA同盟臨時理事会・臨時常議員会にて選任され、2020年4月1日より、日本YMCA同盟総主事に就任することが決まった。横浜YMCAで培った経験を活かして全国のYMCA運動を推進していく。

YMCAの使命に賛同する
賛助会企業と地域活動展開

横浜YMCA賛助会は、横浜YMCAの青少年育成や地域の人びとともに平和な社会を創ることを目指す目的と願いに賛同し、その活動を援助、支援する法人により構成する会員組織となっている。

今年も児童養護施設の子どもたちとのふれあいイベントや企業訪問が行われ、企業の社会的責任（CSR）の実践にもつながっている。

【2019年度賛助会入会会社】

厚木ティービルサービス（有）、（株）安藤スポーツ、アンドウ電気照明（株）、（株）伊藤園、上野トランステック（株）、小倉会計事務所、（株）神奈川新聞社、川本工業（株）、（株）共栄社、（株）崎陽軒、扶桑電機（株）、協同電気（株）、（株）グリーンハウス、（株）サカクラ、（株）サス・スポーツプロダクト、（株）ジャパンビバレッジセントラル、湘南ひかりのくに（株）、大成建設（株）横浜支店、（株）ダイイチ、ダイドードリンコ（株）、タカナシ乳業（株）、タカノ（株）、（株）テレビ神奈川、（福）東京コロニー東京都大田福祉工場、戸田建設（株）横浜支店、ナショナル・ベンディング（株）、（株）日栄ビルサービス、日興テクノス（株）、（株）日新、日立キャピタル（株）首都圏支店神奈川営業所、（株）フェアスタート、藤木企業（株）、富士ゼロックス神奈川（株）、富士倉庫（株）、（株）ホテル、ニューグランド、（株）横浜ポンパドウル、丸全昭和運輸（株）、三丸興業（株）、（株）大和生花店、（株）有隣堂、（株）ヨコソー横浜支店、（株）ヨコソー横浜支店、横浜エレベータ（株）、（株）横浜銀行、横浜商工会議所、（株）横浜スタジアム、株式会社YSGホールディングス、（特非）よこはま地域福祉研究センター、（有）横浜雪屋、ヨシダ電子（株）、理想科学工業（株）横浜支店、（有）ワイコーポレーション（順不同・敬称略 1月31日まで）2019年度のサポートに感謝いたします。

FLASH NEWS

アジア太平洋YMCA同盟が主催したカンボジア・パートナーサポートグループ会議が1月18日から20日に開催され、横浜YMCAからは、齋藤百合子氏（常議員・国際事業委員長）、佐竹博副総主事が出席し、シェムリアップ・プロジェクトサイトの訪問やスタッフミーティングを行い、今後の支援について考える機会となった。

YMCAマナ保育園20周年を共に祝ったみなさん

東日本大震災から9年目を迎える3月11日（月）午後6時から8時30分に、横浜中央YMCAにおいて3.11をわすれない つどい」を開催する。東日本大震災から今年で9年目を迎えたが、今も困難な生活を強いられている人びとに思いを馳せ、共に復興を祈る。また、福島県を舞台に制作された「飯舘村のかあちゃんたち～土とともに」を鑑賞し、古居みずえ監督が、9年目を迎えた飯舘村の様子や、「飯舘村のかあちゃんたち」の二作目に向けてメッセージを語る。

ワイズコーナー 26年目迎える湘南とつかYMCAと横浜とつかワイズメンズクラブ

横浜とつかワイズメンズクラブは、1994年に、戸塚の地に時を同じくして活動をはじめた湘南とつかYMCAと表裏一体、日々活発に、地域に根付いた活動を展開しています。

例会時には2つのワークサポートセンターアンジュの食パン、レザンのおいしいコーヒーを取り寄せ、実のある活動の傍ら楽しみも忘れていません。昨年から始まった鎌倉ワイズメンズクラブと合同の「ワイズカップ幼児室内サッカー大会」は2年目に飛び入りのワイズメン選手も出て大はしゃぎでした。一方、点字絵本ユニリーフへの支援は13年目に入り、先ごろ1千冊を達成しました。地域に密着の活動はますます佳境に入っています。

（横浜とつかワイズメンズクラブ会長 浦出 昭吉）

横浜中央YMCA ☎045(662)3721
横浜北YMCA ☎045(433)4321
藤沢YMCA ☎0466(26)1151
横須賀YMCA ☎046(834)5811
川崎YMCA ☎044(932)2031
厚木YMCA ☎046(244)4181
YMCA ACT ☎045(316)1881
鎌倉YMCA ☎0467(24)7859
YMCA山手台センター ☎045(813)1022
湘南とつかYMCA ☎045(864)4768
金沢八景YMCA ☎045(782)3003
YMCA東とつかセンター ☎045(392)3747
大和YMCAライフサポートセンター ☎046(264)3192
横浜YMCAワークサポートセンターアンジュ ☎045(867)0090
横浜YMCAワークサポートセンターレザン ☎045(860)5252
YMCAあつぎ保育園ホサナ ☎046(222)8619
YMCA山手台保育園アルク ☎045(813)1022
YMCAとつか保育園 ☎045(870)3663
YMCAマナ保育園 ☎045(790)3588
YMCAとつか乳児保育園 ☎045(870)3235
YMCAつるみ保育園 ☎045(500)5030
YMCAかわさき保育園 ☎044(520)1825
YMCAいずみ保育園 ☎045(800)3010
YMCA東とつか保育園 ☎045(820)5588
YMCA東かながわ保育園 ☎045(440)3763
YMCAたかつ保育園 ☎044(281)7833
金沢八景YMCA保育園 ☎045(353)5130
YMCAオベリン保育園 ☎042(707)9974
大和YMCA保育園 ☎046(214)3192
富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ ☎0544(54)1151
三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ ☎046(888)2100
鶴見中央YMCA ☎045(508)7800
YMCAライフサポートセンター鶴見 ☎045(506)0131
YMCAライフサポートセンター関内 ☎045(680)6680
本部事務局 ☎045(662)3721

INFOMATION

横浜YMCA

レクチャー

■イングリッシュセミナー
日　時　３月13日（金）午前10時～正午
会　場　鎌倉YMCA　201教室
テーマ　Marseille, a Mediterranean port and symbol of French mixed-culture
講　師　Delphine Parodiさん
参加費　会員1,200円、一般1,500円
申込み　鎌倉YMCA　☎0467(24)7859

キリスト教理解

■聖書からの学び
日　時　３月５日（木）午前10時30分～11時10分
会　場　湘南とつかYMCA　２階教室
講　師　堀野浩嗣氏（横浜戸塚バプテスト教会牧師）
テーマ　「生きて役立つイエスの言葉」
参加費　無料
問合せ　湘南とつかYMCA　☎045(864)4990

■聖書を読んでみよう会
日　時　３月23日（月）午後６時30分～８時
会　場　横浜中央YMCA ６階教室
テーマ　「ルカによる福音書を読む」
参加費　無料
問合せ　横浜中央YMCA　☎045(641)5492

■聖書に聞く「新約聖書　イエスのたとえ話」
日　時　３月20日（金）午前11時～正午
会　場　横須賀YMCA
テーマ　「徴税人ザアカイ」の話
参加費　無料
問合せ　横須賀YMCA　☎046(834)5811

イベント

■輪 和 Waコンサート
日　時　３月７日（土）午後１時30分開演、午後１時開場
会　場　大和市保健福祉センターホール（小田急江ノ島線「鶴間駅」下車徒歩５分
出　演　すすきだ音楽隊
内　容　障がい児・者と楽しむコンサート
入場料　1,000円
主　催　大和YMCA「輪 和 Waコンサート」実行委員会
申込み　大和YMCAライフサポートセンター　☎046(264)3192

■東日本大震災復興支援イベント
◆チャリティーコンサート
日　時　３月８日（日）午後２時開演　午後１時30分開場
会　場　湘南とつかYMCA
内　容　うたごえ広場、クラシックコンサート
参加費　前売り800円、当日1,000円
申込み　湘南とつかYMCA　☎045(864)4768
◆3.11をわすれない　「飯舘村の母ちゃんたち～土とともに」上映会
日　時　３月11日（水）午後６時～８時30分
会　場　横浜中央YMCA
参加費　無料
申込み　横浜中央YMCA　☎045(662)3721
◆ハンドベルチャリティーコンサート「祈り」
日　時　３月21日（土）午後２時～３時30分
会　場　横浜中央YMCA
内　容　青山学院横浜英和中学高等学校、横浜英和小学校によるコンサート
参加費　無料
申込み　横浜中央YMCA　☎045(307)7556

カルチャー

＜なつかしい童謡や唱歌を歌います＞

■横浜中央YMCA　歌のハーモニー
日　時　３月10日、24日（火）午前10時～正午
対　象　一般、ウエルネス会員
会　場　横浜中央YMCA
参加費　一般1,000円、ウエルネス会員無料
申込み　横浜中央YMCA　☎045(661)0084

■北YMCA　うたごえひろば
日　時　３月10日（火）午後12時40分～２時30分
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　北YMCA ３階スタジオ
参加費　300円
申込み　北YMCA　☎045(433)4321

■湘南とつかYMCA　うたごえひろば
日　時　３月17日（火）午後２時～４時
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　湘南とつかYMCA １階ホール
参加費　300円
申込み　湘南とつかYMCA　☎045(864)4768

■藤沢YMCA　うたごえひろば
日　時　３月20日（金）午後１時15分～３時15分
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　藤沢YMCA
参加費　500円
申込み　藤沢YMCA　☎0466(26)1151

■厚木YMCA　うたごえひろば
日　時　３月24日（火）午後２時～３時30分
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　厚木YMCA
参加費　500円
申込み　厚木YMCA　☎046(222)8619

■生麦地域ケアプラザ　うたごえひろば
日　時　３月18日（水）午後１時30分～３時30分
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　生麦地域ケアプラザ（横浜YMCA運営委託）２階多目的ホール
参加費　100円
申込み　生麦地域ケアプラザ　☎045(510)3411

子育て支援

■横浜子育てサポートシステム入会説明会
日　時　①３月12日（木）、②17日（火）、③24日（火）午前10時30分～11時30分
会　場　①②中区地域子育て支援拠点のんびりんこ③本牧原地域ケアプラザ
対　象　横浜子育てサポートシステムに入会を考えている方
問合せ　横浜子育てサポートシステム中区支部事務局　☎045(663)0676

学校説明会

■横浜YMCA学院専門学校作業療法科
日　時　３月７日、14日（土）午前10時～12時30分
内　容　学校説明会
申込み　☎045(641)5785

■YMCA健康福祉専門学校
日　時　３月21日（土）午前９時30分～12時30分
内　容　オープンキャンパス
申込み　☎046(223)1441

■横浜YMCAスポーツ専門学校
日　時　３月21日（土）午後２時～３時30分
内　容　筋力トレーニング・個別相談
申込み　☎045(864)4990

■YMCA国際ビジネス専門学校　観光ビジネス科
日　時　３月７日、21日（土）午前10時～正午
内　容　オープンキャンパス・体験会
申込み　☎044(932)2015

ボランティア情報

３月下旬に行われるキャンプボランティアリーダーを募集しています。各YMCA、横浜YMCA HPよりお問い合わせください。

【お詫びして訂正します】
２月号１面ホドス蛯名弾臣牧師は、海老名弾正牧師、３面中村哲医師を偲ぶ会の記事で当時の山根誠之前総主事は、当時の山根誠之総主事の誤りでした。

2020年 維持会員（Yサポーター）受付中 お問い合わせ、 お申込みは各YMCAへ

My Y Story 122

YMCAでの学びを活かし子どもから愛される教員に

鎌倉YMCAユースリーダー
横浜YMCAリーダー研修会実行委員長
石渡　瞳（ひとちゃんリーダー）

大学2年生の時に、小学校教員を目指していた私は、「子どもに関わる活動がしたい。できれば小学生の頃から習っていたサッカーを教えたい」という思いで活動場所を探していたところ出会ったのが、YMCAのサッカーリーダーでした。子どもたちと関わることの楽しさ、自分自身を成長させてくれるYMCAの活動にもっと関わりたいと思い、野外活動、学習支援、学童などたくさんのリーダー活動をさせていただきました。

サッカーリーダーとして子どもたちと関わる中で感じたことは、「集団相手に接していても、一対一の関係をつくることが大切である」ということです。一人ひとり個性があり感じ方、考え方は違います。だからこそ目の前の子ども一人ひとりと向き合い、子どもが夢中になり、満足のいく活動ができるよう子どもたちのことを知る必要があります。そして、活動する上で臨機応変に、柔軟に対応できるよう準備を怠らないことの大切さも学びました。

リーダーとして最初の頃は、何も考えずに、たんたんと練習をこなしていましたが、子どもが満足にその日の練習を終えられているのかを考えるようになり、どのような活動をすれば子どもたちが楽しめて、上手になるのかを考え取り組むようになりました。うまく指導ができたと思ったら、次の週はうまくいかないことの繰り返しで自分自身の指導力のなさに反省する日々でした。その度に「どうしたらもっとよくなるのか」を自分で考えることや、リーダー仲間やスタッフの方にアドバイスをいただきました。そのような中でも子どもたちが、練習や試合で「リーダーできた」「またやりたい」「楽しかった」と言ってくれた時はとてもうれしく子どもたちの笑顔を見るためにもっとがんばりたいと思うようになりました。

▲一人ひとりの子どもたちの個性を大切にリーダーとして活動（2019年/右）

YMCAで子どもたちと関わることで、子どもたちの笑顔に勇気や元気をもらえ、子どもの成長に携わりたいと思うようになりました。

4月からは、YMCAでの学びを活かし子ども一人ひとりと向き合い、子どもたちから愛される先生を目指します。

▶デスクペン　東日本大震災から9年。「3.11をわすれない…つながる」の取り組みを継続して取り組んでいます。多くの方とともに支援の輪をさらに広げていきたいと思います。皆さまのご支援・ご協力をお願いいたします。（直）